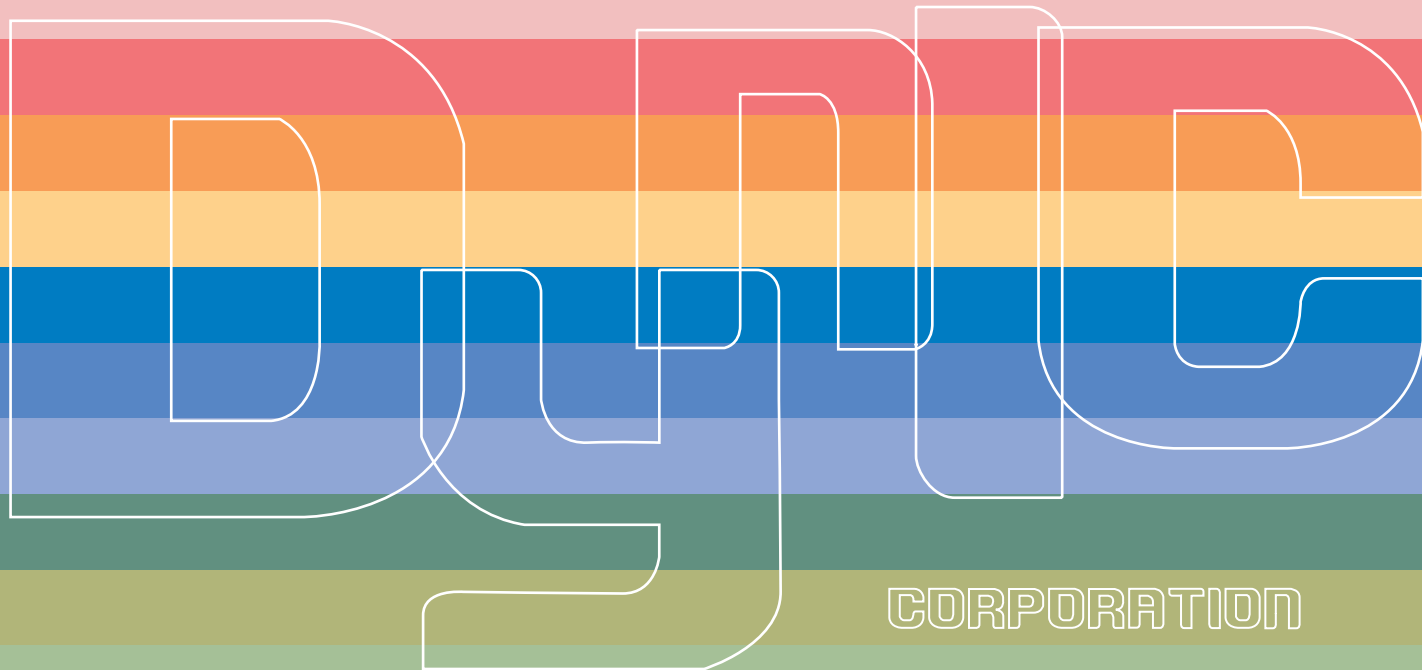


(証券コード 3551)



# 第151期報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日



# 技術の優位性 人の和

経営の理念

経営の基本方針

## “For The Customer”

### 会社概要 (平成26年3月31日現在)

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
本社	〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26 TEL 075-313-2111 FAX 075-313-2116
東京本社	〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 (新御成門ビル) TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146 ホームページ <a href="http://www.dynic.co.jp">http://www.dynic.co.jp</a>
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
発行済株式総数	42,523千株
社員数	グループ合計1,494名
営業所/事業所	札幌、東京、名古屋、京都、大阪、福岡、 香港、台湾、シンガポール、米国、タイ、 英国、中国 (グループ含む)
工場	滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、台湾、 シンガポール、米国、タイ、英国、中国 (グループ含む)
関連会社	国内6社、海外9社
主要商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文具紙工品用クロス</li> <li>●出版用クロス</li> <li>●プリンターリボン</li> <li>●銀行通帳用クロス</li> <li>●フィルムコーティング製品</li> <li>●磁気関連製品</li> <li>●表示ラベル用素材</li> <li>●名刺プリンタ</li> <li>●有機EL用水分除去シート</li> <li>●パップ剤用フィルム加工</li> <li>●壁装材</li> <li>●カーペット</li> <li>●自動車内装用資材</li> <li>●各種フィルター</li> <li>●不織布</li> <li>●産業用ターポリン</li> <li>●接着芯地</li> <li>●各種ファンシー商品</li> <li>●食品包材</li> <li>●紙管紙器</li> </ul>

### 役員 (平成26年6月27日現在)

取締役会長	細田敏夫
代表取締役社長	大石義夫
取締役副社長	天野高明
専務取締役	湊正晴
常務取締役	公文弘
常務取締役	羽田章
常務取締役	君塚明
取締役	眞住慎也
取締役	河野秀昭
取締役	市川仁司
取締役	木村博
常勤監査役	折坂透
常勤監査役	矢部明
監査役	大場將弘
監査役	綱島勉

(注) 監査役のうち、大場將弘、綱島 勉の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループ第151期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

第151期の業績は、円安基調を反映し、輸出関連は比較的好調に推移し売上は増加いたしました。台湾科楽史工業股份有限公司の製品製造事業からの撤退に伴う処理、今年2月の記録的な大雪で埼玉工場一部建屋が損壊したことに伴う損失が影響し、利益面では前年度を下回り、連結ベースで別記のような結果となりました。

配当につきましては現状および来期以降の事業展開等を考慮して、一株当たり5円とさせていただきます。

第152期の当社グループにおいては、埼玉工場の復興を最重要課題として取り組むとともに、不織布事業の新たな海外拠点として、インドネシア共和国にPT. DYNIC TEXTILE PRESTIGEを早期に立ち上げる事に取り組んでまいります。

このような状況下、事業目標の達成に向け原価低減の徹底および新規開発に注力し、国内・海外グループ会社との連携を密にして、当社グループ一丸となり利益改善に取り組んでまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

代表取締役社長

大石 義夫



## ●白色タイプ・熱転写インクリボンの耐久性を改善

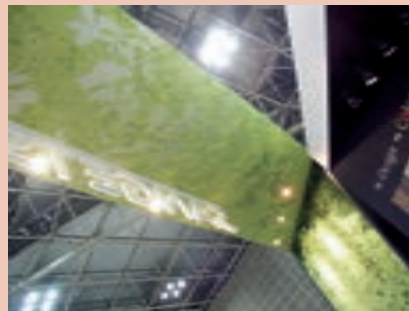
白印字の熱転写インクリボンは、お醤油や麺つゆ等、内容物が黒色系のパックタイプのフィルム包装材において、商品表示を目立ち易くする為に使用されています。当社でも2010年に開発いたしました。品質基準の厳しい食品包装への採用を増やす為に、更に耐久性に優れた商品が完成いたしました。将来が楽しみな商品の一つです。



当社製の白インクリボンの印字サンプル

## ●インクジェット壁紙 展示会や店舗等で活躍

当社壁紙製品の中で、小ロットでもオリジナルデザインの印刷が可能なインクジェット壁紙は、その利点を生かして展示会や飲食店にと広く採用されています。最近では、有名なアニメのキャラクターをモチーフにしたホテルのスペシャルルームの壁紙にも採用が広がっています。

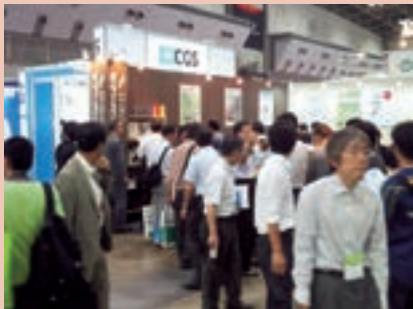


当社製インクジェット壁紙を使用した展示会ブース

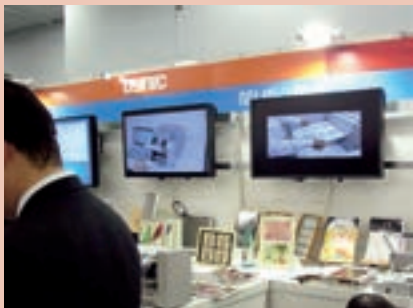
## ●名刺はがきプリンタを小型化

従来から発売している名刺はがきプリンタと多目的光沢加工機を、市場ニーズを取り入れて、その基本性能はそのままにコンパクト化しました。

小型化した名刺はがきプリンタ「MP-2100S」、多目的光沢加工機「DC-1」は、昨年10月に開催された「J G A S 2 0 1 3」、今年2月に開催された「page 2 0 1 4」に展示され、大きな反響を呼びました。



JGAS2013の当社展示ブース



page2014の当社展示ブース

## ●真岡工場に太陽光発電システムを設置

真岡工場の遊休地を利用して、太陽光発電システムが完成いたしました。再生可能エネルギーとして、近年注目を集めている「太陽光発電」については、以前から当社「天究館」等でも活用してまいりましたが、今回の真岡工場での採用は、自社供給ではなく「電力買取制度」に基づいた売電事業になります。

環境にもやさしい太陽光発電システム設置についての当社の取組は、地域からも注目されています。



真岡工場に設置された太陽光発電システム

## 経営の実績 当期の概況

当連結会計年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日）におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に円安・株高が進行し、公共投資の増加等により企業収益に改善の兆しが見られ、景気は緩やかな回復の傾向にあります。

一方で、原材料価格の上昇、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動による消費の落ち込みも懸念され、本格的な景気回復には時間がかかるものと思われま

す。このような状況のもと、当社グループにおきましては、省エネ対策を含めたコスト削減による原価低減につとめ、引き続き収益改善への取り組みを継続してまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は41,077百万円（前期比2.9%増）となりました。利益面につきましては、営業利益1,204百万円（前期比8.1%減）、経常利益1,221百万円（前期比7.5%減）となりました。

また、台湾科楽史工業股份有限公司の製品製造事業からの撤退に伴う事業整理損548百万円と、平成26年2月の記録的な大雪により当社埼玉工場の一部建屋が損壊したことに伴う災害による損失101百万円を特別損失に計上したことなどから、当期純利益は512百万円（前期比40.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

### ■印刷情報関連事業

印刷被写体においては、書籍装幀用クロスは出版市場が縮小するなか、大型企画も減少しており前期比減となりましたが、文具用途のクロス関係は輸出を中心に堅調に推移し前期比増となりました。

産業用の品質表示用ラベルは、国内外ともに堅調に推移し前期比増となりました。

印刷用フィルムは、自動販売機用途が堅調に推移し前期比増となりました。

印字媒体においては、ラベル等の印字用熱転写リボンは、食品・医療関連が好調に推移し前期比増となりました。

その他では、有機EL用水分除去シートは、国内海外ともに堅調に推移し、前期比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は17,148百万円（前期比3.0%増）、営業利益は為替の影響もあり1,155百万円（前期比17.6%増）となりました。

### ■住生活環境関連事業

壁装材は、消費税増税前の駆け込み受注もあり、戸建住宅向けを中心に売上を伸ばし、前期比増となりました。

不織布は、後半に自動車用フィルター材の落ち込みがあったことに加えて、2月の記録的な大雪により埼玉工場の一部建屋が損壊したこと、一部の商品が生産出来ない状況となり大きく売上を落としました。

産業用ターポリンは、復興関連および樹脂運搬用コンテナと鉄道関連用途が堅調に推移し前期比増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は12,859百万円（前期比2.8%増）、営業利益は616百万円（前期比6.7%減）となりました。

### ■包材関連事業

食品包材・蓋材は、海外からの受注は堅調であったものの、国内販売は低調に推移し前期比で若干の減となりました。

医療用パップ剤用フィルム加工は前期比で大幅な売上減となりました。

その結果、当セグメントの売上高は5,952百万円（前期比6.2%減）、営業利益は217百万円（前期比27.1%減）となりました。

### ■その他

ファンシー商品は、ノート・スケジュール帳等が好調で前期比増となりました。

衣料用途接着芯地は海外を中心に堅調に推移し、前期比増となりました。

商品等運送・保管では、当社グループ以外での売上比率を高め前期比増となりました。

その結果、売上高は6,468百万円（前期比11.1%増）、営業利益は370百万円（前期比18.5%減）となりました。

### ■対処すべき課題

次期のわが国経済は、円安基調が続き、景気は緩やかに回復していくと思われま

すが、原料価格の上昇、消費税率の引き上げ等、景気の下振れリスクも懸念されます。当社グループにおきましては、2月の記録的な大雪により埼玉工場の一部建屋が損壊し、一部の商品が生産出来ない状況にあり、次期は埼玉工場の復興を重要課題として取り組んでまいります。

また、不織布事業の新たな海外展開の充実を図るため、インドネシア共和国にP.T. DYNIC TEXTILE PRESTIGEを早期に立ち上げる事にも取り組んでまいります。このような状況下、燃料・原材料価格が高騰し、コスト面においても非常に厳しい状況が続くものと思われま

すが、代替原料・設計仕様変更等、徹底した原価低減活動につとめ、省エネ対策も含めたコスト低減など更なる採算性の改善を進め、収益基盤の強化に取り組んでまいります。

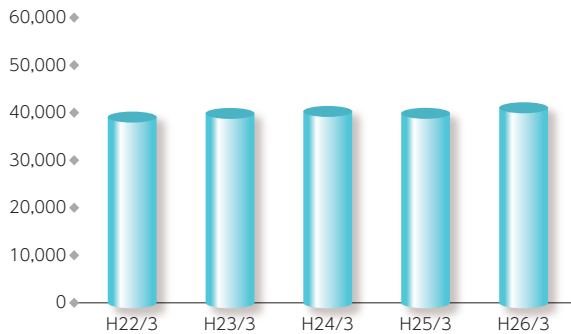
当社グループはコーティング技術を核とした複合技術の強みを活かし、多岐にわたる加工技術を武器に、お客様の望む特徴ある製品の開発促進を更に強化してまいります。

また、コーポレートガバナンスの強化に積極的に取り組み、企業の社会的責任を果たすとともに、内部統制の維持・向上、リスク管理体制の強化を継続的に進め、透明性の高い経営体制のもとで、株主をはじめとするステークホルダーに対する経営責任と説明責任を果たしてまいります。

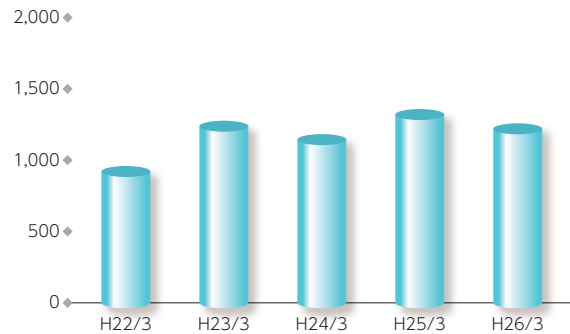
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 業績ハイライト (連結)

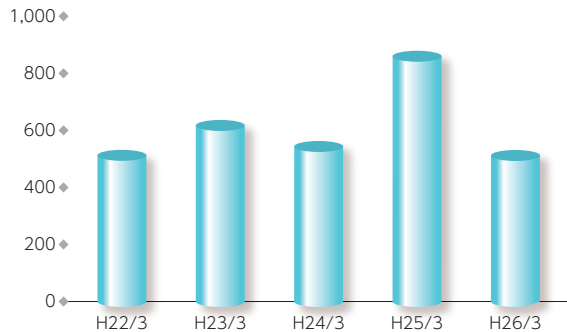
■売上高 (単位：百万円)



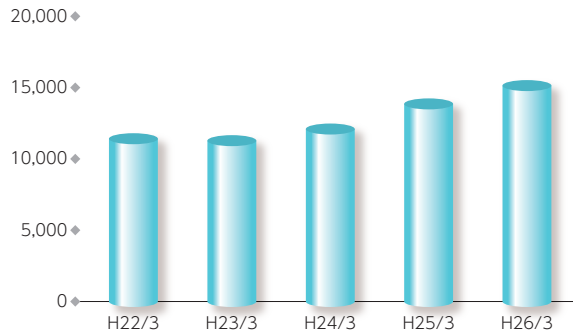
■経常利益 (単位：百万円)



■当期純利益 (単位：百万円)



■純資産 (単位：百万円)



		平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
売上高	(百万円)	39,141	39,912	40,325	39,935	41,077
営業利益	(百万円)	1,090	1,400	1,224	1,310	1,204
経常利益	(百万円)	921	1,238	1,144	1,320	1,221
当期純利益	(百万円)	513	617	544	860	512
売上高営業利益率	(%)	2.8	3.5	3.0	3.3	2.9
純資産	(百万円)	11,421	11,281	12,100	13,856	15,139



# 財務諸表の概要（連結）

## 貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前 期	当 期
	平成25年3月31日	平成26年3月31日
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>20,492</b>	<b>20,932</b>
現金及び預金	2,944	2,822
受取手形及び売掛金	10,493	9,817
たな卸資産	6,496	6,695
繰延税金資産	363	481
その他の流動資産	270	1,212
貸倒引当金	△74	△95
<b>固定資産</b>	<b>24,888</b>	<b>25,549</b>
有形固定資産	15,492	15,376
建物及び構築物	3,146	3,032
機械装置及び運搬具	1,442	1,286
土地	9,974	9,977
その他の有形固定資産	930	1,081
無形固定資産	38	37
投資その他の資産	9,358	10,136
投資有価証券	6,041	6,466
繰延税金資産	142	140
その他の投資	3,283	3,627
貸倒引当金	△108	△97
<b>資産合計</b>	<b>45,380</b>	<b>46,481</b>

科 目	前 期	当 期
	平成25年3月31日	平成26年3月31日
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>20,929</b>	<b>20,084</b>
支払手形及び買掛金	8,914	7,705
短期借入金	9,765	10,084
未払法人税等	272	50
設備関係支払手形	199	203
その他の流動負債	1,779	2,042
<b>固定負債</b>	<b>10,595</b>	<b>11,258</b>
長期借入金	4,524	4,736
退職給付引当金	2,406	—
退職給付に係る負債	—	2,294
再評価に係る繰延税金負債	1,501	1,501
その他の固定負債	2,164	2,727
<b>負債合計</b>	<b>31,524</b>	<b>31,342</b>

科 目	前 期	当 期
	平成25年3月31日	平成26年3月31日
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>11,745</b>	<b>12,044</b>
資本金	5,796	5,796
資本剰余金	945	945
利益剰余金	5,033	5,333
自己株式	△29	△30
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>2,111</b>	<b>3,095</b>
その他有価証券評価差額金	550	989
土地再評価差額金	2,596	2,596
為替換算調整勘定	△1,035	△487
退職給付に係る調整累計額	—	△3
<b>純資産合計</b>	<b>13,856</b>	<b>15,139</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>45,380</b>	<b>46,481</b>



## 損益計算書

(単位：百万円)

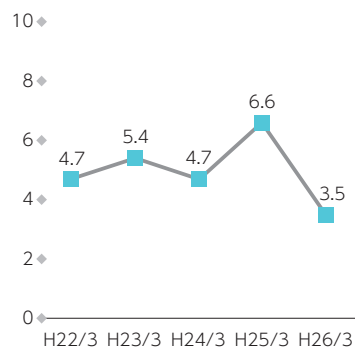
科目	前 期	当 期
	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
売上高	39,935	41,077
売上原価	32,013	33,218
売上総利益	7,922	7,859
販売費及び一般管理費	6,612	6,655
営業利益	1,310	1,204
営業外収益	445	470
営業外費用	435	453
経常利益	1,320	1,221
特別利益	97	194
特別損失	50	668
税金等調整前当期純利益	1,367	747
法人税、住民税及び事業税	417	149
法人税等調整額	90	86
少数株主損益調整前当期純利益	860	512
当期純利益	860	512

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前 期	当 期
	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,114	543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,443	△694
財務活動によるキャッシュ・フロー	△852	58
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	119
現金及び現金同等物の増減額	△120	26
現金及び現金同等物の期首残高	2,708	2,588
現金及び現金同等物の期末残高	2,588	2,614

## 自己資本当期純利益率 (単位：%)



# 株式の状況

## 会社の株式に関する事項 (平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	42,523,735株 (自己株式133,498株を含む)
株主数	3,605名

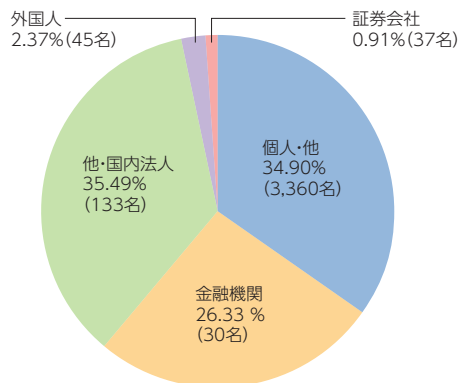
## 当社の大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ニックグループ持株会	1,863	4.39
株式会社良品計画	1,298	3.06
三井住友海上火災保険株式会社	1,211	2.85
株式会社ヤクルト本社	1,034	2.43
株式会社三井住友銀行	1,000	2.35
みずほ信託銀行株式会社	1,000	2.35
住友不動産株式会社	987	2.32
株式会社滋賀銀行	960	2.26
株式会社武蔵野銀行	960	2.26
コクヨ株式会社	838	1.97

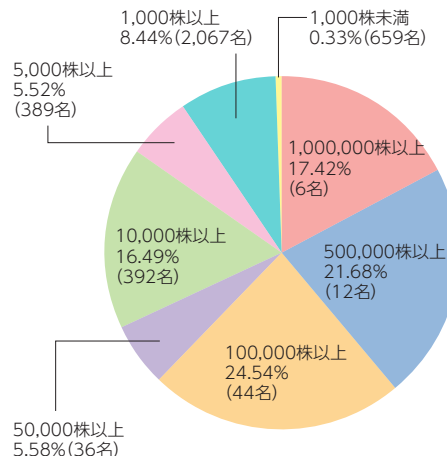
(注) 持株比率は自己株式 (133,498株) を控除して計算しております。

## 分布状況

### 所有者別



### 所有数別



## ダイニックグループ (平成26年3月31日現在)

(国内)	(海外)
ダイニック株式会社	台湾科楽史工業股份有限公司
ダイニック・ジュノ株式会社	NC STAFLEX CO.,PTE.,LTD.
大和紙工株式会社	DYNIC (H.K) LTD.
ニックプレート株式会社	DYNIC USA CORP.
ダイニックファクトリーサービス株式会社	THAI STAFLEX CO., LTD.
オフィス・メディア株式会社	DYNIC (U.K) LTD.
大平産業株式会社	大連大尼克辦公設備有限公司
	昆山司達福紡織有限公司
	達妮克國際貿易(上海)有限公司

## 本社および事業所 (グループ含む)

京都本社	京都市右京区西京極大門町26 〒615-0812 TEL (075) 313-2111
東京本社	東京都港区新橋6-17-19 (新御成門ビル) 〒105-0004 TEL (03) 5402-1811
王子分室	東京都北区浮間5-4-44 〒115-0051 TEL (03) 3966-9333
大阪支社営業所	大阪市中央区南船場2-5-12 (クリスタファイブビル) 〒542-0081 TEL (06) 6262-3010
名古屋支社営業所	名古屋市東区葵3-15-31 (千種ニュータワービル) 〒461-0004 TEL (052) 979-2370
札幌営業所	札幌市白石区中央三条4-3-47 〒003-0013 TEL (011) 825-1344
福岡営業所	福岡市博多区東光2-20-22 〒812-0008 TEL (092) 451-9232
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字多賀270 〒522-0341 TEL (0749) 48-1717
埼玉工場	埼玉県深谷市内ヶ島500 〒366-0831 TEL (048) 572-3311
王子工場	東京都北区浮間5-4-44 〒115-0051 TEL (03) 3966-0171
富士工場	静岡県富士市宇東川西町1-2 〒417-0854 TEL (0545) 52-3885
真岡工場	栃木県真岡市松山町16 〒321-4346 TEL (0285) 82-4121

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会の基準日	3月31日	
定時株主総会 剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行なう場合は9月30日)	
定時株主総会	6月下旬	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行なっていた必要があります。
上場証券取引所	東京	
証券コード	3551	
公告方法	当社のホームページ ( <a href="http://www.dynic.co.jp">http://www.dynic.co.jp</a> ) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	



〒105-0004  
東京都港区新橋 6-17-19 (新御成門ビル)  
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146  
<http://www.dynic.co.jp>

この報告書の表紙は当社製品「レーヌカバー」を使用しています。

**UD FONT**  
見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。